

## 第19期第2回理事会議事録

日時 昭和51年10月21日 17.15～18.00

場所 愛知県産業貿易館会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 奥田, 河村, 門脇,  
杉本, 立平, 松本, 各常任理事  
磯野, 伊藤, 坂上, 沢田, 田中, 中島, 孫野,  
柳原, 山元, 各理事  
野本, 藤田, 各監事

## 報告

[庶務]

- 10月7日, 水資源に関するシンポジウム実行委員会から, 発表論文の募集依頼がきた(締切52年1月末日).
- 10月7日, 文部大臣から昭和51年度科学研究費補助金(研究成果刊行費)交付決定通知書がきた(決定額150万円).
- 書面審査による昭和51年度学会奨励金受領者の賛否について  
投票総数26票中  
山田幹夫 可とするもの24, 否とするもの2.  
力武恒雄 可とするもの26.  
松村三佐男 可とするもの26.

[議題]

## 1. 学会の財政問題について.

杉本理事から昭和52年度予算案(第1次)の編成骨子について説明があった. その概要は,

- (1) 印刷費, 編集事務費は, 物価の影響を考慮し10%アップ, また人件費は7%アップとして計上した.
- (2) 旅費は, 札幌における秋季大会に出席予定者の分を計上.
- (3) (1)(2)以外の項目については, 51年度予算額と同額にした.
- (4) 事務職員は, 従来通り2.5人として計上.

昭和52年度は, 会員名簿の作成はないので70万円と剰余金90万円とで160万円となり通常会費の10%強になり, 結論として値上げしなくても済みそうである.

これに対し,

奥田理事: 印刷費が15%アップすると聞いている.

朝倉理事: 地方大会費を10万円増額してはどうか.

小平理事: 大会参加費が他に比べ安いので値上げしたらどうか一次回大会をやるところで決めるこ

とを確認.

磯野理事: ページチャージを値上げしないようにして欲しい.

以上のことを考慮して最終案を作成することとする.

## 2. 分科会について.

朝倉理事から次のとおり提案理由の説明があり, 各理事から色々と意見が出された.

昨年10月大阪における全国理事会で提案され懸案となっていた分科会について, 講演企画委員会で検討してきたが問題点が多く結論を得ていない.

試験的に1～2回開催しながら様子を見るのがよいように思われる.

主な問題点は, 次のとおり.

- (1) 分科会の性格, 特に春秋の大会, 月例会との関連をどのように考えるのがよいか.
- (2) 分科会の運営, 特に大学側における受入れ体制はどうか.
- (3) 春秋2回の大会で, 講演数が多くなってきているため十分討論する余裕がない. 現状のままでは破たんする恐れがある.

以上の提案に対し,

田中理事: 講演数がのびていない. 時間をかけないと質問もでない.

孫野理事: 分科会も大会にひびいてくる. 勿論理事長に出席して貰う. 費用も迷惑をかけないし, 予稿集は実費とする. 発表したものは気象学会で認めて欲しい興味のあるものが集る. 月例会はやめるようにする.

磯野理事: 春, 秋の大会でそれぞれ分類をかえる. またセッションの組合せをかえてやる.

理事長: 試験的に実施してみる. さしあたり分科にしないでやってみる.

朝倉理事: 会員の意見も聞く必要があり, 春の大会に提案してみる.

## 3. 各委員会委員について

まだ決っていないものについては, 書面審査を受けることを確認.

承認事項坂坂之雄ほか13名の入会を承認.